

深井駅周辺地域の活性化について

Q1. 深井駅周辺を活性化するにあたって、現在の深井駅周辺の課題は何だと思いますか。

伊藤 久美子	<p>深井駅周辺は、近隣に公的な施設は多いが、市民が集う場所が少ないため、にぎわいという部分では、活性化するには難しいとは思いますが。例えば、駅ビルや駅構内の複合施設はあるものの、1拠点のみが存在するだけでショッピングをするといった位置づけでもなく、生活するには便利なところではあるが、若者が集う、家族が集うための施設がないため、エンタメ性に欠けており、通過点になっているような気がします。そのため、遊び場やイベントができるような場所や会場があれば、利用者が増えることにより、人や物が集まってくるのではないのでしょうか？</p>
今西 千晶	<ul style="list-style-type: none"> ・中区！を活性化できるような「推せるもの」がない。
太田 佳世	<ul style="list-style-type: none"> ・深井駅周辺に、若い世代の興味を引きそうなお店が無い。 ・深井プラザに、もっとお店を増やして欲しい。 ・ロータリーを、もっと明るくきれいにしたい。
金澤 正巳	<ul style="list-style-type: none"> ・中区では、全国的にも問題となっている人口減少、高齢化が進んでいる。 ・深井駅周辺は昼間のにぎやかさに欠ける。 ・若い世帯が、持続的に集まる仕組みを作ることが必要。
澤本 美奈子	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり時間を楽しむ場所がない。 ・深井駅周辺の自転車駐輪場は、電車を利用して仕事や学校へ通勤、通学のための利用者が多く、それ以外の目的で訪れた場合には、駐輪するところが少ない。
静 又三	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な傾向と同じく、中区は人口減少が続いていることが課題であるため、人口を増やすことが必要である。

竹井 進	<ul style="list-style-type: none"> ・深井駅を中心として、水賀池公園、ソフィア堺、府営八田荘住宅などへの交通の利便性向上が必要と考える。 ・路線バスなど減便する中、ライドシェアなどを導入して移動手段を増やし、人流の増加を図る。
田重田 勝一郎	<ul style="list-style-type: none"> ・駅中（深井プラザ）やその周辺の商業施設が老朽化していて、駅前にもかかわらず空き店舗が目立つ。 ・駅前が商業施設と賃貸マンション、分譲マンションなどが入り混ざっていてごちゃごちゃしているため再開発しにくく、ブランド化もしにくいのではないかと感じる。 ・駅前にまとまった台数の駐車場が少なく、駐車料金も高い。
巽 真理子	<p>住民以外にとっては、深井駅を最寄り駅として、どういう施設にアクセスできるかわかりにくい。</p>
谷村 修	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェなど、ゆっくりと過ごせる店舗が少ないと思います。休憩したり、人と会ったりする場があれば、人が集まるきっかけになると思います。
仲氏 昌平	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある店舗等が少ない。 <p>例えば、子どもが集まる店やイベントなど</p> <ul style="list-style-type: none"> * キッチンカーのイベントなど（カレーフェスやスイーツフェス） * 地場産業、市により、新泉牛乳や地域のパン屋さんとのコラボイベントなど
中辻 さつ子	<ul style="list-style-type: none"> ・深井駅周辺には、若い世帯が住む住宅・マンションや楽しめる場所が少ない。
松居 勇	<ul style="list-style-type: none"> ・滞在する場所のなさ。 ・買い物をはじめ、遊んだり学んだりできるフリースペースなどが無い。 ・足を運ぶきっかけになるような催し事がない。そのため、通り過ぎる場所になっており、電車で向かう機会も少ない。

森田 裕之	<p>おそらく人口減少が課題と思われるが、駅及び宮園周辺の人流調査の結果を確認して、ストックとともにフローにおける問題点を確認することが重要である。</p>
梶原 愛未	<p>・駅前ロータリーにおける歩行者の横断や、歩道内での自転車通行の多さ →歩行者動線の確保の必要性を強く感じています。</p> <p>・水賀池周辺のごみの多さ →特に、ツツジの茂みなどにペットボトルや紙袋、煙草の吸い殻などのゴミが捨てられているのをかなり目にします。深井駅周辺のイメージを刷新するため、ゴミなどの問題は課題だと考えます。</p> <p>→大阪公立大学の学生や中区内の小中高生など、若い世代も参加しやすいような単発のボランティア活動を実施することにより、「若い世代が美化活動に参加するまち」「ごみを捨てにくい雰囲気」を作ることができるのではないのでしょうか。</p> <p>・ロータリー沿いの活気の差 →深井駅のロータリー沿いにおいて、駅直下の店舗等では賑わいが見られる一方、ソフトバンク近くの空き店舗や中区役所方面の駐輪場付近など、昼間でも比較的雰囲気が暗い場所があるように感じます。</p>
桂 恵輔	<p>深井駅周辺の課題は道(アクセス)にあると考えられる。</p> <p>土塔や原池公園、野々宮神社、ソフィア・堺など深井駅周辺の施設に行ったことがあるが、いずれも深井駅からの道が分かりづらいと感じた。狭かったり入り組んだりした道が多く、渡りづらい幹線道路を越えなければならない点が課題だと思う。特に市外出身の人からすると、より分かりにくいように思う。また、近くではあるが歩いていくには少し遠いという点についてもネックである。</p> <p>水賀池公園についても深井駅に非常に近いが、行こうと思うと横断歩道や信号、曲がり角があるので、目の前というわけにはいかない点は弱みであると考えられる。</p> <p>深井駅前ロータリーが大きな面積を占め、広場や休憩するスペースが少ないのではないかと感じる。休憩や待ち合わせがしやすい場所があれば良いと思う。</p>
小西 響	<p>私は深井駅に数える程しか降車したことがありませんが、深井駅周辺には、チェーン店や生活必需品が一通り揃う店も出店しているため、利便性も良いと思う。ただ、より活性化するには深井駅周辺の利用促進や長居できる場所にする必要があると思う。深井駅の利用者にそのまま徒歩で立ち寄りやすい、長居できる場所として、公園やカフェなどが深井駅周辺には少ないように感じた。</p> <p>また、今回再開発される水賀池公園までの道のりや、その他の施設へのアクセスがわかりにくいといったものが挙げられると思う。</p>
堤 朋子	<p>深井駅周辺は、歩行者の通行が一定数あるにもかかわらず、歩道などが狭く信号があまりないため、通行がしにくく感じたことが多々あります。深井駅周辺には比較的地域資源がまとまっており、徒歩で人々が移動することが想定されている一方、そこから少し離れると歩いて移動するよりも車で移動することを想定したお店の配置になっています。また、大きな道路に面しているため、あまり空間として落ち着かないものになっていると感じています。</p>

<p>真栄田 愛花</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高架が多く、日光などの光が少ない。 ・車通りが多いかつ、歩道が狭いところがある。
<p>山口 睦季</p>	<p>高架周辺に関して、夜間に明かりが増えるともっと安心して歩くことができる。自然的な美しさに欠ける（緑や花など）。段差があるところ、路面にがたつきがあるところもあり、バリアフリーを進めていける箇所がまだある印象を抱いている。</p>
<p>脇田 利奈</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古墳等歴史的な魅力があまり伝わっていない。 ・大阪公立大学の生徒目線であれば、飲食は中百舌鳥で済ませることが多く、観光やショッピングについても大阪市内と反対方向の深井駅方面に行く理由が少ない。

Q2. 中区及びその周辺の地域資源（歴史文化、伝統産業、学校、教育施設等）の魅力を深井駅周辺地域のにぎわいに繋げる良いアイデアはありますか。

（例）・関係機関との連携 ・情報発信 など

伊藤 久美子	<p>できれば、深井駅の構内やバスターミナル前などに、大きなモニターを付けて、行政からのお知らせ、学校行事やお祭り、ソフィア・堺での催し物のイベント情報など、スーパービジョンで流すことや地域情報等をサイネージ技術を使って配信するなどして、情報発信することが大事だと思います。</p> <p>また、SNSだけではなく、だれでも気楽に情報を受け取れるツールをあちらこちらに置く事で、結構なにぎわいに繋がると思います。</p>
今西 千晶	<ul style="list-style-type: none"> ・中区には入院施設のある病院が7箇所あり、急性期と慢性期でバランスよく充実していることをアピールする。 ・近大病院が、お隣の南区に移転してくることも大きく、医療との連携が上手にとれることで、地域包括ケアシステムを作りやすいと思う。
太田 佳世	<p>だんじり関連のグッズ販売や、注染の手ぬぐい等の販売、中区で作られている野菜等地元のPRにもなるような道の駅を作りたい。また、情報発信ができる場としても活用。</p>
金澤 正巳	<ul style="list-style-type: none"> ・中区の地域資源への交通手段と地域資源の情報をセットで発信する。 ・拠点間のつながりについても利便性を向上させる、拠点間の行き方があっても伝わっておらず、情報を発信する必要がある。 ・原池公園は野球場があるのが良いが、野球だけではなく、宿泊施設やスーパー銭湯など周辺で丸1日過ごせるようなればいい。
澤本 美奈子	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターと連携して、子育て懇談会やサークル活動をして水賀池公園芝生広場で親子遊びをする。 ・深井駅の壁面に堺の歴史施設等のパネルを掲示する。
静 又三	<ul style="list-style-type: none"> ・深井駅から地域資源への行きやすさ（バスの本数やルート）が必要である。

竹井 進	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の物産品や加工品、特産物の販売。 ・地域おこしを図り、活性化を進める。
田重田 勝一郎	<ul style="list-style-type: none"> ・中区で真っ先に思いつくのはだんじりです。だんじりと言えば岸和田のイメージですが、泉州の他の地域でもだんじりが盛んなところはたくさんあります。中区ならではのだんじりの魅力を発信するのはどうでしょうか。
巽 真理子	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に自転車でまわれるように案内するマップを作成して、ウェブサイトに掲載し、旅行サイトからリンクを貼る。
谷村 修	<ul style="list-style-type: none"> ・堺市中区のYouTubeチャンネルを開設して、情報発信していく。合わせて、これから着工するMIZUGAIKE LIFE PARKの進捗状況を随時発信していくと、工事の進捗など気になる方が続けて見てもらえるのではないかと思います。
仲氏 昌平	<ul style="list-style-type: none"> イベントの開催による地域の社会資源の再確認と構築 * イベント内で、歴史文化・伝統産業・学校・教育施設等の魅力を伝える。
中辻 さつ子	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源のイベント情報を、広報紙やSNS等により積極的に発信をする。
松居 勇	<ul style="list-style-type: none"> ・水賀池公園を発着地として、シェアサイクルを活用しながら、区内の名所（土塔や注染・和晒の産地）や周辺店舗等を巡る散走ツアーを実施する。 ・区内の魅力を体験できるイベントを水賀池公園（駅前）で開催して、各施設等の認知を広めたうえで、各地への実際の訪問へとつなげる。 例 1）堺シュライクスとの交流イベント（原池公園スタジアムへの導線）。 例 2）中図書館と連携して、公園芝生で「えほんピクニック」のようなイベント。 例 3）注染・和晒の展示・販売を含むマルシェイベント。

森田 裕之	<p>現状の周辺地域におけるコンテンツは存在するものの、その吸引力は強いとは言えない。</p> <p>また、その距離も微妙である。もし活用を考えるなら、第一にコンテンツの魅力を向上させることを考え、それが可能であれば現地とのアクセス手段を同時に解決する方法を検討する必要がある。</p>
梶原 愛未	<p>・謎解きイベントの開催 →「歴史文化や伝統産業、教育文化・スポーツ関連施設など、多様な地域資源がある」ことから、シェアサイクルや路線バスを活用した謎解きイベントを実施することにより、地域の魅力発信にもつながるのではないかと考えます。</p> <p>・水賀池公園内（多目的広場等）での注染日傘オブジェや手ぬぐいのライトアップ →「堺イルミネーション2021」でも行われていた注染日傘オブジェや手ぬぐいのライトアップを、産地である中区内でも実施することにより、中区民の方にも伝統産業を身近に感じてもらうことができるのではないのでしょうか。</p>
桂 恵輔	<p>上記課題(Q1)がネックとなり、地域資源に深井駅から徒歩でアクセスするということが難しくなっているのではないかと思います。Web上で調べると、深井駅から徒歩〇分とか約〇 kmといった情報は出るが、経路を示した地図などは見つからなかった。これら地域資源に深井駅からアクセスする人が増えると、その魅力と深井駅のにぎわいがつながるのではないかと思います。そのため、看板や地図の整備、アクセスに関する情報発信といった手段が必要ではないかと考えられる。</p>
小西 響	<p>以前にポイントラリーやクイズラリー、謎解きのようなイベントのサポートをしたことがある。謎解きイベントは、遠いところからわざわざ時間をかけてやって来る方も多く、多世代に楽しんでもらうことができると思う。謎解きのために街を歩くことが、結果的に街を知ってもらう良いきっかけになると思う。謎解きやクイズラリーは、街の側面を知ってもらうことで愛着につながり、深井駅周辺地域を活性化するのではないかと考える。</p> <p>古墳は、一見違いがわかりにくいいため古墳カードとして作成し、古墳マニアを含め新たに興味を持ってくれる人が増えると思う。また、土塔の画像を見ると、夜にキャンドルライトを段々に置いていけば幻想的な空間になる。</p>
堤 朋子	<p>実際に深井駅からそれらの施設に行こうと思うと距離もあるし、それだけのために訪れる人が多くいるとは考えがたいです。そのため、それらを連携したいのなら、交通の利便性を見直す必要があると思います。ただし、そこを訪れなくても、雰囲気や魅力を知ることができたら今後行ってみたいと思う人が増えると考えます。</p> <p>その方法として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関とのコラボを行い中区全体をまわるような仕掛けを作る。 ・歴史文化や伝統産業に関する場所が、多くの人を受け入れることが可能になるように工夫をする。 <p>などが考えられます。</p>
真栄田 愛花	<ul style="list-style-type: none"> ・市が発行する広報紙の表紙に、地域資源の写真や情報などを掲載する。 ・堺市にある駅構内に、地域資源に関するポスターを貼る。 ・学校などの教育機関と連携し、社会見学や遠足、課外活動等のルートとして様々な施設と深井駅を設定し、来てもらう。

<p>山口 睦季</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バスや公共交通機関、徒歩、自転車など、自家用車以外の手段で行ける地域資源を巡るスタンプラリーを開催する（自家用車が無い人でも参加出来るように）。スタンプラリー参加のために深井駅を利用する人が増え、周辺地域がにぎわうかもしれない。また一つの案として、スタンプラリーで巡るスポットの中に深井駅かその周辺スポットも入れれば、駅周辺地域のにぎわいに繋がりがやすいかと思う。スタンプラリー完走時には地域資源に関するグッズか、地域資源・周辺地域で利用できるギフトカードなどをプレゼントできれば、魅力の発信・拡散や地域への再来が期待できるかもしれない。 ・伝統産業体験プログラムや歴史文化ガイドツアーの集合・解散地点を深井駅にして、周辺地域を訪れるきっかけを作る。
<p>脇田 利奈</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公立大学の地域について学ぶ一般教養の講義などと連携する（実際に授業で来てもらう） ・歴史文化を巡れるサイクリングコースやランニングコースの提案（特に研究漬けの4回生や大学院生は隙間時間に運動したいなと思ってるけど機会がないからやっていない人が多いので、イベントとして呼びかけたら人集まるかも。） ・SNSの活用（Xで古墳部というアカウントを見つけておもしろいなと思った）

Q3. 水賀池公園に新たに整備される4haの公園と商業施設が一体となった施設を深井駅周辺地域のにぎわいに繋げる良いアイデアはありますか。

(例) ・イベントなどソフト的なもの ・若者世代やファミリー層が訪れたいくなる仕掛け など

伊藤 久美子	<p>新たに整備される際には、市民が気楽に参加できるような野外の音楽堂のようなステージを設け、気軽にイベント開催ができるような形状にこだわり、そこにはスーパービジョンを配置するなど遠くからでもステージ内容が見れるような環境を作ってもらえれば、エンタメ性がグーンとUPすると思います。</p> <p>また、その内容を公式LINEなどを使ってイベントの生配信などを行い、集客できるようにすることや、IoTを駆使して地域住民が一体となるような仕組みを作ることが急務であると思います。</p>
今西 千晶	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも安心して過ごせるスペースを常設（街角保健室のように、お茶を飲みながら看護師や保健師に相談できるカフェ、子どもに限らずみんなの食堂など）。
太田 佳世	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なイベントの開催。 （やはり若い世代やファミリー層が、足を運びやすくなる大きなスーパーができて、そこのイベント開催。）
金澤 正巳	<ul style="list-style-type: none"> ・水賀池公園の色々なものを活用し、季節に合わせて絶え間なく人が集まる催しやイベントを開催する。また、その情報発信を積極的に行う。 ・パデルコートなどについても、一つだけの用途ではなく多目的に使えるような工夫が必要。
澤本 美奈子	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に子育てイベントや、高齢者を対象としたイベントがあると行きやすい。 ・深井駅から水賀池公園や地域資源に直接行ける通路があればいい。
静 又三	<ul style="list-style-type: none"> ・外から人を呼び込むためには、著名人を招いて野外フェスタなど。地域の人が交流できる場所も必要である。 ・ふれあい喫茶など、地域の人が交流の場として利用できるスペースが必要である。

竹井 進	<p>・周辺地域の飲食店などを巻き込み、食フェス等を定期的で開催し幅広い層を一気に取り込みリピーターを獲得する。また、上手くアプローチする事でクチコミが広がり、集客力アップを見込める。</p>
田重田 勝一郎	<p>・泉ヶ丘の大蓮公園で開催されているLiPのように、毎週屋台やワークショップなどが開催され、地域の人が出店やお客さんとして訪れるようにすることで広場を日常の居場所（使える公園）にする。</p> <p>・住宅エリアは大型分譲マンションが予定されているようですが、若い世代が入居しやすい賃貸アパート（市営住宅）がエリア内にあると水賀池公園の利用者も増えるような気がします。大東市のmorinekiプロジェクトが参考になると思います。</p>
巽 真理子	<p>駅から各施設へのアクセス案内（ホームに降りた時に見られる案内板など）。市民や深井駅周辺の高校に通う高校生が、イベントを企画実施できる場所の提供。</p>
谷村 修	<p>・MIZUGAIKE LIFE PARKを利用される方をサポートするようなものがあれば、深井駅利用にもつながるかと思います。例えば、コインロッカーの設置、深井駅周辺の案内も含めた案内所、多目的利用も含めたトイレの整備など。</p>
仲氏 昌平	<p>今後の水賀池公園の活用と子どもから高齢者、障害者の方々が集まれる場所や居場所、芝生の設置や駅近のバーベキューができる場所など</p>
中辻 さつ子	<p>・野外イベント（音楽フェスタ、中区区民フェスタ、各校区のイベントなど）を施設で開催する。</p>

<p>松居 勇</p>	<p>パークコーディネーター（パートナーシップによる公園づくり、協議会運営、地域連携イベント、ボランティアコーディネートなど）のような存在（機能）があり、NPO 法人や市民、地域団体等と連携した公園の活用の推進がなされること。市民と共に創る公園。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺～公園の清掃活動を行う。 ・花のボランティア団体と連携して、フラワーポットを設置して順路を彩る。 ・カフェ等で子ども食堂／地域食堂等の交流の場が設けられる。 ・公園でパークラン等の定期的な市民参加イベントが開催される。 <p>【参考にしたWEBサイト】</p> <p>○堺市パークマネジメント計画（案） https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/koen/keikaku/keikaku/77134620210729114837604.files/pakumane_honpen.pdf</p> <p>○新・公民連携最前線「パークコーディネーター ～新たな公園マネジメントの担い手～」 https://project.nikkeibp.co.jp/atclppp/PPP/032300072/040600014/</p>
<p>森田 裕之</p>	<p>公園を活用した定期的なイベントの実施。</p>
<p>梶原 愛未</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マルシェやフリーマーケットの開催（芝生広場、多目的広場等において） →ソフィア・堺などで実施されているようなマルシェやフリーマーケットを行うことにより、若い世代にも興味を持ってもらいやすいのではないかと思います。また、出店者として地域の人の参加も促すことにより、地域コミュニティ形成にもつながるのではないのでしょうか。 →加えて、マルシェやフリーマーケットへの出店者としての参加に関する広報のブースも設置しておくことにより、来場者の方のさらなるイベント参加にもつながられるのではないかと考えます。 （例）スイーツやハンドメイド作品の販売、ワークショップを行うイベント 地域の方が出店するフリーマーケット 大阪公立大学の部活・サークル（V-stationも含む）も出店者として参加するイベント ・深井駅前から連続したイルミネーションの開催（プロムナード、ツツジ・サクラ並木散策路において） ・堺市内で収穫された野菜等を販売する朝市の開催 ・音楽イベントの開催（芝生広場、多目的広場等において） →中区役所で開催されている「ひるどきコンサート」のように、普段水賀池公園を利用しない人にも興味を持ってもらえるのではないかと考えます。 →また、広々とした空間かつ屋外での開催により、小さなお子さんでも参加しやすく、子育て世帯の参加を促すこともできると思います。

桂 恵輔	水賀池公園だけでなく、深井駅前にも今よりも大きな広場のようなものがあれば、深井駅を中心としたにぎわいも相乗的に生まれるのではないかと。
小西 響	<ul style="list-style-type: none"> ・深井駅周辺地域のイベントとして、毎週農作物の直売所を開催する。大きな幹線道路が近くにあるので、道の駅のような存在になると活性化するのではないかと。 ・水賀池公園で長く過ごしてもらえるように、ブルーシート等が引きやすい環境が必要だと思う。
堤 朋子	Park-PFIの事例は、成功しているところも多いが、うまく活用できずほとんど利用されなかったこともあります。そのため、成功する際のカギとなるのが、そこに住む人を呼びたいのか、訪れる人を増やしたいのかのターゲットを明確にとらえられているのかという点があると考えられます。また、地域の特徴や魅力を生かしたものであるのかが一番大事です。深井駅の周辺は、すでに多くの人々が利用しており、その人たちが過ごしやすい場所になるように、広い広場や多目的に使える空間だけでなく、視線を少し遮るような障害物や、近くで働かれている方がお昼に休めるようなベンチのような空間、水や樹木を見て癒されるような場所があればいいと思います。加えて、広場や運動施設などで遊ぶ用具の貸し出しや、ピクニックグッズやテイクアウトして食べたいような飲食店があれば芝生などの利用につながると考えます。
真栄田 愛花	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた施設や遊具を設置する。 例：夏にプールやお化け屋敷、冬に簡易のスケート場など。 ・屋台、移動販売車などを誘致。定期的にマルシェや祭りのようなものを開くと良いのではないかと。 →一般の人でも出店できるようなもの。そこに伝統産業に関するものも出店できると良いのではないかと。 ・紙芝居やめんこなど、昔の子どもたちが遊んでいた遊びを再現できるイベント。 →親、祖父母世代も懐かしさを覚えるようなもの
山口 睦季	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内で地域通貨プラットフォームサービスchiicaを導入し、訪問者がお得に施設を利用できる仕組みを創ることで、「訪問者の増加→施設内で事業を展開したい人の増加→地域経済の活性化」の循環が見込める。 ・施設内で撮った写真のフォトコンテストを開催する（撮った写真に「#水賀池公園」「#深井」「#水賀池フォトコン」などのハッシュタグを付けて応募する形をとれば、若い世代の参加や深井周辺以外の住民への拡散は見込みやすいと考える。ただネックとしては、スマホやアプリになじみがない世代にとっては参加しにくい。そのため、フォトコンテストは若い世代・違う地域に住む人にターゲットを絞ったプロジェクトに設定し、それ以外の人々は違うプロジェクトでアプローチしても良いかと思う）。 ・コンテスト方式ではなくても、フォトウィークを開催する。→上記のようなハッシュタグを付けて写真を投稿した画面を見せると（臨時設立テントに中区役所職員ORボランティアの方が駐在？）、ささやかな景品（参加賞）がもらえる。 ・「みんなの大運動会」を開催、各世代向けのプログラムを用意する（多様な世代が公園を利用することで、それぞれにとっての施設の魅力を発見するきっかけになる）。

脇田 利奈	<ul style="list-style-type: none">・水賀池公園の商業施設で、深井駅周辺地域の商業施設のクーポンを配布、またその逆も行うことで、相互の行き来を促す。・幼稚園児から中学生くらいまでそれぞれの年代が楽しめる設備（砂場などから、野球とかをしていいスペースまで、年代に合わせて遊べる場所をそれぞれ作る）。・きれいなトイレ。・水遊びがしやすい場所に水道。
-------	---

<p>Q4. 深井駅周辺のにぎわい拠点（深井駅、水質池公園、府営八田荘住宅建替に伴う活用地）を連動してにぎわいに繋げていくには何が重要だとおもいますか。</p> <p>また、深井駅と府営八田荘住宅建替に伴う活用地にあれば良いと思われるものは何ですか。</p> <p>（例）拠点をつなぐ歩道や駅前広場のイメージアップ など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道や駅前広場の再整備などハード的なもの ・沿道店舗のオープンカフェやマルシェなどソフト的なもの 	
伊藤 久美子	<p>前回も一度提案したことがあるのですが、中区が地域創生をするうえで、地域住民が一体となって取り組む仕掛けが必要です。例えば、泉北レモンの活動のように「ふかいハーブ」づくりを中区民と一緒に取り組み、出来たハーブは商品化をする。また、商品化されたハーブティーやお菓子などは、府立大学（公立大学）も中区にあることから、産官学連携で「ふかいハーブ」を作り、ブランド化し、住民と一体となって広める活動を行ってみてはいかがでしょうか？</p>
今西 千晶	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪万博にむけて、府営住宅を民泊施設に利用（委託業者に依頼）。 ・一回限りでなく、定番化させていくイベントを開催し、中区＝〇〇のイメージを作る（コスプレ大会やコミケなど若者世代や子どもが楽しめるイベント）。 ・区民マラソン（参加は他区でもOK）。
太田 佳世	<ul style="list-style-type: none"> ・深井駅前と八田荘住宅側の整備。 ・周りから聞く要望としては、マクドナルドやスターバックスがあれば嬉しい。 ・子育て世帯が利用しやすい絵本カフェや、その場でお惣菜等を購入できるようなカフェが欲しい。 ・深井駅周辺に、学用品や文房具が購入できる文房具店が欲しい。
金澤 正巳	<ul style="list-style-type: none"> ・深井駅から八田荘住宅のほうに行くには幹線道路を渡ることが必要なため、そこに行く目的や歩行者の行きやすさ、アクセスのしやすさが重要。 ・人が集まる話題性のある有名な飲食店や日用品が買えるスーパーを出店する。 ・若い世帯が入居しやすいデザイン、入居者が長く住めるようエレベーターの設置やセキュリティにも配慮した安全、安心なマンションなどを建設する。
澤本 美奈子	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は宮園校区に銭湯があり、利用者や人の往来が多かったと思いますので、八田荘住宅内にもお風呂屋（スーパー銭湯）があると嬉しい。また、中区以外の方も来る理由ができ、原池公園等でのスポーツの後入浴して帰ることができる。
静 又三	<ul style="list-style-type: none"> ・若いファミリー層が定住できるマンションが必要である。

竹井 進	<ul style="list-style-type: none"> ・深井駅周辺地域に適したインターロッキング舗装をすることで、景観を変えることもできる。 ・八田荘住宅建替えに伴う活用地には、防災施設など災害発生時に安全かつ迅速に避難できる施設があればいいと思います。
田重田 勝一郎	<ul style="list-style-type: none"> ・駅を挟んで西側と東側は線路に阻まれて行き来がしにくいので、道路が改善されると良いと思います。水賀池公園の整備がうまくいけば周辺道路が渋滞し、今より余計に行き来がしにくくなりそうな気がします。 ・東西色々なエリアに人が行き交うというところでは、高槻ジャズストリート、和泉の国ジャズストリートのようなまち全体を使ったイベントがあれば良いと思います。
巽 真理子	定期的なマルシェやキッチンカーを開催できる広場。
谷村 修	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜や果物を扱う、道の駅のような店舗ができれば、住宅やその周辺の住民、深井駅周辺に来られた方たちが、足を運んで買い物をしてもらえると嬉しいです。 ・住宅には、若い世代が入居されることを見越して、キッズスペースのあるカフェがあるといいかと思います。 ・高齢の方向けに、講座や教室、ウォーキングなどのイベントを企画するのがいいかと思っています。
仲氏 昌平	イベント活用でにぎわいを作る。
中辻 さつ子	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店（カフェ等）、スーパーやドラッグストアなどの店舗があれば、にぎわいが生まれる。 ・中区も他区同様に民生委員の高齢化が進んでいる状況で、特に八田荘住宅では高齢化が顕著で民生委員のなり手にも苦労している。若い世帯が住んでくれるようなマンションや賃貸住宅があれば、世代間のバランスが取れるようになるのでありがたい。
松居 勇	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的な歩行空間の整備、案内標識等の統一化。 ・包括的な情報発信（特に建替えに伴う活用地は離れているため）。

森田 裕之	位置関係を見るうえで、線路及び幹線道路を横切らない限り水賀池整備地域にアクセスできない。もし水賀池の整備計画に大きな誘引力があるなら、通行を容易にする歩道の整備が必要である。ただし、それだけの誘引力がないなら無駄な投資となる危険性がある。
梶原 愛未	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の再整備 →路上駐車や自転車通行が多いため、ベビーカーや高齢者の方でも安心して通行できるような歩道の再整備は重要だと思います。 ・子ども食堂やふれあい喫茶などの交流の場の整備 →活用地において、子育て世帯や高齢者の方が利用できる交流の場を設置することにより、地域住民同士の繋がりの醸成や生活上の不安解消にもつながるのではないのでしょうか。 ・高齢者支援施設（地域密着型介護老人福祉施設、定期巡回・随時対応型訪問介護看護等）の設置
桂 恵輔	<p>現状から言うと、にぎわいにつなげるためには歩道などの整備によるアクセスの向上・簡便化は必須であると考えられる。特に府営八田荘住宅建替に伴う活用地については、深井駅から簡単で安全に行ける道を整備することが、にぎわいにつながるのではないかと考えられる。</p> <p>八田荘住宅建替に伴う活用地には、八田荘住宅の住民だけでなく、深井駅を訪れた人が行きたくなるようなイベントが開催できる空間があれば、双方向に人の流れが生まれてにぎわいにつながるのではないかと考えられる。</p>
小西 響	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路による府営八田荘住宅と深井駅の分断を緩和すること。歩行者にとって大きな幹線道路は、人の流れを遮るものなので、気楽に渡ってもらうためには、魅力のあるお店や、行かなければならない施設（こども園や病院）が好ましいと思う。 ・水賀池公園と競争関係にならないのであれば、同じように商業施設でも良いと考える。 ・社会人向けのサービスとしてコワーキングスペースといった社会人に求められる施設などがあってもいいなと思った。
堤 朋子	<p>深井駅周辺の住宅に住む人だけでなく、定期的に訪れたいようなお店や、土日などに参加したくなるようなイベントを開催します。また、深井駅周辺ですでに営業されているお店や、学校、地域の団体などが参加するお祭りなどがあればいいなと思います。</p>
真栄田 愛花	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の整備 ・幅が広い歩道

<p>山口 睦季</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各拠点をつなぐ幅広の歩道。 ・サイクリングロードの整備（冬は住民の邪魔にならない程度に、ロード・駅・公園をライトアップして一帯をイルミネーションエリアにする）。 ・公共交通機関の整備によって各拠点の往来がしやすいようにする。 ・コミュニティバスの運用。 ・深井駅における公園、活用地の案内看板による訪問誘致。 ・電車やバス待ちの間に休憩できるようなベンチの増設、ちょっとした広場のような空間の設定（子どもが飽きずにバスや電車の時刻を待てる屋外プレイルームのような場所）。 ・週末に移動販売車が駐車できるスペースを確保する（買い物に行きづらい高齢者や妊婦、子育て世帯向けの案）。
<p>脇田 利奈</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車道や歩道の整備。 ・オシャレなカフェや人気の飲食店があれば、わざわざ足を運ぶ人が増えそう。なかもずや北花田など、近くの栄えている駅にはない店だと、わざわざ足を運んでもらいやすそう。 ・古着屋の街、雑貨屋の街、など何かテーマがあると、それが好きな人が集まってくるかもしれないと思った。